

新しいLRP FLOWオンロードモディファイソフトウェアv4.7

ヨーロッパのレースシーンを圧巻したファームウェアがここにあります!ロナルド・フォルカーのようなLRPチームドライバーは、ヨーロッパ選手権、ETSシリーズ2012,2013、そして2014年もDHIカップとTTCほかで、既に2013年にプロトタイプで完全にレースシーンを支配しました。私たちは、プロトタイプファームウェアの作成中に、これらの成功したレース中に得られた追加的な洞察と共に、すべての経験を組み合わせました。そして最終的にファームウェアv4.7を発表できることを誇りに思っています。それは本当にチャンピオンのソフトウェアです。

主な目標は、インフィールドにおけるブレーキ、ドライバビリティの向上と、ストレートでのより高い最高速度の達成でした。私たちのLRPエンジニアたちは、すべての異なる路面コンディションに最適なブレーキを作成しました。LRPは3種類のブレーキを提供しています:セミXブレーキ、Xブレーキ、およびBD3 *必要に応じてお選びいただけます。新しいターボディレイはインフィールドにおけるターボブースト起動を防止します。最大パワーは、あなたが望む、ストレート上でのみ放たれます。より正確に調整可能なターボがストレート上でより高いトップスピードを可能にする一方で、インフィールドにおけるハンドリングは、より正確に調整可能なブーストのために改良されています。



ファームウェア: v4.7

製品品目: フローコンペティション
フローワークスチーム

説明: オンロード・モディファイド・ソフトウェア

品番: 80960
80970

主な改善点

- ・ 3種類のブレーキタイプ:セミXブレーキ、Xブレーキ、BD3
- ・ 初期制動の調整
- ・ 初期駆動の調整
- ・ ターボディレイ

オンロード・モディファイ・フローv4.7機能の補足説明

モード1	モード2	モード3	モード4	モード5
<p>オートブレーキ(または"ドラッグ・ブレーキ"): ラジオでスロットルポジションがニュートラルの時に付与される制動力の割合を定義します。</p>	<p>ブレーキタイプ(v4.7→新機能) あなたのドライビングスタイルに最高にあっているか調べるために、異なる種類のブレーキを試してみてください。</p> <p>Xブレーキ: 非常にニュートラルなブレーキ効果とのスムーズな低回転ブレーキングに向けた、パワフルな高速ブレーキング機能。全クラスと全コンディション向け。</p> <p>セミXブレーキ(v4.7→新機能): より低速に向かってブレーキ力を増加させる特徴を持ちます。ウェットまたは低グリップコンディションに。</p> <p>BD3 (v4.7→新機能): ブレーキングバンド全体に渡った最もダイレクトな感覚と強いブレーキ力が特徴。 全てのアプリケーションと全コンディションに、特に高グリップと高速トラックに。</p>	<p>インシヤルブレーキ(v4.7→新): あなたが最初にブレーキをかけるとき、オートブレーキが追加され、ブレーキ力を定義します。ブレーキを打つ時、これにより一種の"ハンドブレーキ"効果が得られます。 多くの180度カーブとの緊密なインフィールドトラック上への使用を提案します。</p>	<p>インシヤルドライブ(v4.7→調整可能性向上にむけ改善された設定): 初期スロットルパワーの割合を定義します。 これはスムーズなスロットルや攻撃的な加速の調整を可能にします。 ご使用の目安:モディファイドクラス(スムーズな設定1-3)、ストッククラス(攻撃的な設定7-9)</p>	<p>トルクタイミング: この機能は特にX12/X20/X20SS/K7モーター向けに設計されています。 トルクタイミングの使用は効率を増加させ、より低いV/Fバンドを改善、よりスムーズなオペレーションと涼しいランニングモーターの結果をもたらします。 他のブランドのモーターの場合、0°トルクタイミングの使用をお勧めします。 ブースとゼロクラストルクの場合は、タイミング0を選択してください。</p>
モード6	モード7	モード8	モード9	モード10
<p>ブーストタイミング(v4.7→調整可能性向上にむけ改善された設定): 最大ブーストタイミング設定を定義します。 推奨設定2-7。 ブーストゼロクラスの場合、ブースト0を選択する必要があります。 ブースト0が選択されると、モード7,8,9は表示されません。</p>	<p>ブーストアングル(または"パンチ"): どれだけ速く選択されたブーストタイミングに到達するかを定義。 より高い設定により速くブーストタイミングに到達します。 より大きなパワーとより速い加速の結果をもたらします。</p>	<p>ターボ(v4.7→調整可能性向上にむけ改善された設定): 最大利用可能な電力に到達するためのブーストタイミング後の追加タイミングを定義します。 この設定はフルスロットルが適用された場合のみ達成されます。 注:高すぎるブーストタイミング設定を低すぎるブースト角との組み合わせで選択した場合、ターボのアクティベートは遅すぎる可能性があります。</p>	<p>ターボディレイ(v4.7→新機能): この機能を使用すると、要求前のターボ起動を防ぐために、ターボのアクティベーションを遅らせることが出来ます(たとえば、ストレートの前のロングコーナーの途中などで) これは、ストレートからインフィールドを分離することができます。</p>	<p>保護:スピードメーターとモーターの保護レベルを定義します。 バッテリー保護は常にアクティブです。</p>

新しいLRP FLOWオンロードモディファイソフトウェアv4.7

MODE	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
赤LED		速い	ゆっくり						速い	
青LED									速い	
黄LED									速い	
設定 緑LED	オートブレーキ	ブレーキタイプ	イニシャルブレーキ	イニシャルドライブ	トルクタイミング	ブーストタイミング	ブースト角	ターボ	ターボディレイ	保護
	[%]	-	[%]	[%]	[°]	[°]	[°/10k]	[°]	[s]	-
0	0	セミXブレーキ	0		0	0		0	0	ESCO & モーター
1	3	Xブレーキ	3	1	5	3	1	3	0,05	ESC だけ
2	6	BD3	6	2	10	6	2	6	0,10	
3	9		9	3	15	9	3	9	0,15	
4	12		12	4	20	12	4	12	0,20	
5	15		15	5	25	15	5	15	0,25	
6	20		18	7		18	6	18	0,30	
7	25		21	9		21	7	21	0,35	
8	30		24	12		24	8	24	0,40	
9	35		27	16		27	9	27	0,45	
10	40		30	20		30	10	30	0,50	

工場出荷時のデフォルト設定は、



補足説明はオリジナルのユーザーマニュアルを参照してください。以下は、重要な短い説明だけです！注：ブーストタイミングが、#0°の場合、モーター7、8、9は無効であり表示されません。



「プログラミング・モード」の取得方法

「モード」ボタンを最低3秒間押します。

- 保存された設定を確認する方法→グリーンの「SET-LED」の点滅回数を数える
- 設定を変更する方法→「SET」ボタンを押して、1ステップで設定を増やします。
- 次のモードの入手方法→「MODE」ボタンを一回押します。
- プログラミング・モードを終了するには→最後のモードに達している場合、「MODE」ボタンをもう一度押します。またこれはあなたの設定を保存します。

ソフトウェア更新後は、工場出荷時の設定に速度制御をリセットします。各ソフトウェアの更新後には、これを実行しなければなりません！

受信機のスイッチを入れ、「SET」ボタンを押し、スピードコントロールのスイッチを入れている間、「SET」ボタンを押したままにします。これは工場出荷時の設定にスピードコントロールを設定します。

送信機にスピードコントロールがキャリブレーションします。各ソフトウェアの更新後に実行されなければなりません！

スピードコントロールをバッテリーに接続し、スイッチを入れます。「SET」ボタンを最低3秒間押したままにします。

- 青色LEDが点滅。ニュートラル位置にトランスミッタを残し、「SET」ボタンを押します。→ニュートラルの保存。
- 黄色LEDが点滅。トランスミッタ上にフルスロットルを保持し、「SET」ボタンを押します。→フルスロットルの保存。
- 赤色LEDが点滅。トランスミッタ上にフルブレーキを保持し、「SET」ボタンを押します。→フルブレーキの保存。

最高温度の読みだし方:

「MODE」ボタンを押して、スピードコントロールのスイッチが入る間、「MODE」ボタンを押し続けます。それからボタンを離します。

スピードメーター温度の読み出しのために、「シャットダウンまでのスピードメーター温度」を示す緑色LEDのゆっくりした点滅を数えます。

ゆっくりした緑色LED	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
温度°C	> -54°C	-48°C	-42°C	-36°C	-30°C	-24°C	-18°C	-12°C	-6°C	シャットダウン
温度°F	> -97°F	-86°F	-76°F	-65°F	-54°F	-43°F	-32°F	-22°F	-11°F	シャットダウン

モーター温度の読み出しのために、「MODE」ボタンを再び押して、「シャットダウンまでのモーター温度」を示す緑色LEDの点滅を数えます。

速い緑色LED	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
温度°C	> -45°C	-40°C	-35°C	-30°C	-25°C	-20°C	-15°C	-10°C	-5°C	シャットダウン
温度°F	> -81°F	-72°F	-63°F	-54°F	-45°F	-36°F	-27°F	-18°F	-9°F	Shutdown